

## 会長挨拶



稲門バドミントンクラブ会長 菊地 利明

今年も早慶バドミントン定期戦の時期がやって来たが、両校ともここ何年か特筆すべきことが無いのは残念である。

O B の方は、春の関東五大学 O B 戰、秋の関東大学 O B 個人戦と、年二回の試合があり、例年の定期戦とは異なった早慶 O B の対抗戦が行なわれている。

さてバドミントン競技も、すでに皆様は、御承知とは思うが、次々回オリンピックに正式種目として認められ、やがて日本国内でもこれに対応するいろいろの手段がとられると思う。現状の技術では、とうてい他国には歯が立たず、技術向上に対する研究或は、日本バドミントン協会を中心とした選手育成の問題が提起されよう。この様な時、大学、高校の選手や指導者は、これから育つ少年達を、どの様に七年後に結びつけるかが大きな課題である。

その様な意味に於ても、この定期戦など、バドミントン PR には微力ながらも効果ありとして、出場する選手諸君は、自分の力を精一杯出し切る様な試合をすべきであり、それを期待する。両校選手の多いなる奮闘を望む。

## 第33回 早慶バドミントン定期戦

美を求める心のふれあい、

・オフセット印刷・デザイン・版下・マッチ製造

 ATARIYA

本社及工場 〒672 兵庫県姫路市白浜町乙の372番地

TEL 0792-45-1451 (代表)

当矢印刷株式会社 東京都豊島区南池袋1の18の4(当矢第2ビル)

TEL 03-983-3121 (大代表)

当矢商事株式会社埼玉工場 〒354 川越市芳野台2-8-34(川越工業団地)

TEL 0492-25-3911 (大代表)

当矢燐寸株式会社 札幌営業所 〒060 札幌市中央区北5条西2丁目6番8

TEL 011-644-4633

## 会長挨拶



今秋は日吉に早稲田の皆さんをお迎えする年であります。行き届かぬ点が多いのですがよろしくお願ひします。

本年のわが部は大島監督が統率します。彼はこの競技を良く理解して居るのでそのうちに効果が表れるでしょう。早大の諸君もどうか期待して下さい。彼からは早速「プレー中の鳴り物の応援は止めて欲しい」と提言されましたが全く同感であります。又高校、大学O B戦の試合の順番については昨年福岡クラブの方々と打合せなし、両校O Bの意見は一致したのですがその案がわが現役のプライドを著しく傷けたのでその扱いに苦慮致しました。

両校の現役諸君が誇りを失わず、そしてそれにふさわしい競技が早慶定期戦で發揮され、内外の関心を集められる様にみんなで努力を致しましょう。

## 中華料理

# 麗

# 郷

渋谷店／渋谷区道玄坂2—25—8 ☎ 464—8617～8

461—4220

日吉店／横浜市日吉駅前中央通り ☎ 61—6252

新宿店／新宿区百人町1—11—27 ☎ 367—4359  
(新大久保駅徒歩1分)

## 早慶戦に寄せて

早稲田大学法学部 昭和34年卒 石 原 豊

早慶戦は観戦していて実に楽しい。対抗戦はOB戦、高校、女子、現役戦とバラエティに富んでおり、殊にOB戦は、往年の名選手が、運動神経と体力・気力のアンバランスをみせながら、ドタドタと音をたてて、プレイしている姿は、ほほえましい。ゆったりとした試合の後の現役戦は、正に若さのぶつかり合いであり、勝敗を超えて、観戦後爽快感が残る。小生、五十才に今一步の年命になりながら、相変わらず仕事にかこつけて午前様の帰宅が多い。昨今、さすがに最近は疲労感が強く、時には「つき合ひ」を断つたりもする。「若い頃は元気だったなあ……」等と時折り昔を懐かしむが、その事自体が老いた証拠。

今年も現役諸君、皆さんのがんばりの特權である「若さ」があふれたスピードのある高い技術を見せて欲しい。

早慶戦の度に思い出すのは、2年の時の第4回大会での失敗談だ。当時、リーグ戦の名簿の末席にやっと名前が載る程度の部員だった小生は、何の仕度もせずに会場（ドレメ体育館）に行った。ところが、ダブルスの出場メンバーに入っているではないか。嬉しさよりも、驚きと慌ての方が大きく、OBの山内さん（間組）にユニフォームを借りてコートに出たが、結果はストレート負けだった。ラケットは誰に借りたか記憶にない。生来の呑気な性格は、この年になつても治っていない。

以上

祝 早慶バドミントン定期戦

力 ナ リ ャ

早大馬場下町交差点下

## 早慶定期戦雑感

慶應義塾大学法学部 昭和39年卒 鈴木 明

月日の経つのは早いもので、バドミントンのラケットを正式に握ってから早や30年、大学の選手生活から離れて20年、今は年寄の冷水といわれながら、年1回の早慶バドミントン定期戦に出る事を楽しんでいます。考えてみるとこの定期戦は色々な意味で魅力というかユニークさを持っていると思います。高校から大学男子女子、そしてOB戦と他のスポーツの定期戦には類をみない幅広い層、そしてそれを一堂に会して定期戦を行う事。第1回から第11回迄は慶應の連続勝利、第12回から第24回迄は早稲田の連続勝利と、非常にバランス（アンバランス？）した戦績。又早稲田の諸兄が現役より卒業してから強くなる（？）という特筆すべき点。それに比べ慶應サイドの落差の大きい事。OB戦には引分けという非常に平和主義者が考え出した試合方式。試合が終ればお互いノーサイドとなってのレセプション。これららのユニークさが、年1回の定期戦に出させる理由になっているのかもしれません。

特にOB戦は、参加する事のみに意義を見い出し、1セット目をなんとか取り、2セット目は引き分けに持ち込むという、恨みっこなしの高等戦術を今年も取ろうと思っています。

早稲田の諸兄、明日の身体の痛みは忘れて、この一戦を気持だけは現役の時にハッスルしようではありませんか。

塾生の憩の場…  
部員会に！ 其の他の会合に！

山 食

塾図書館裏・保健管理センター  
TEL(453)5971

## 「日吉の銀杏」

早稲田大学文学部 昭和40年卒 安 隆 雄

昭和38年9月、当時3年生だった我々の「早慶戦」は、夕暮せまる慶應大学日吉校舎の駅に続く銀杏並木の下から始まった。

この日行われた定期戦は13—2という大敗を喫したのである。前年までもう一歩というところまでせまりながら、慶應大学の厚い壁につきはなされた無念さが一挙に爆発した。交歓会を終り、日吉駅にむかう途中、駅に一番近い銀杏の木の下に集まつた我々は、丸坊主になるという四年生とともに、全員丸坊主になることを誓った。

年が明けて、昭和39年春、茨城県那珂湊市で行われた春の合宿。そして、石川県小松市での夏の合宿には「打倒 慶應」のスローガンをかけながら、練習にはげんだのである。

そして、むかえた昭和39年の「早慶定期戦」は、直前になって手首骨折で出場不能となつた主将の吉良を欠きながら、後輩部員たちの懸命の頑張に支えられて、劇的な初勝利をかちえたのである。

昭和40年3月。卒業式を迎えた我々は、式終了後、わざわざ日吉校舎に近い、綱島温泉のネオンきらめく某旅館に乗り込み、徹夜の麻雀を打ちながら社会人になる門出を誓い合つたのである。

今、思いおこせば、我々四年生としての一年間は、常に「早慶戦」を意識した一年間であった。



# 伊藤忠金属販売株式会社

取扱品目：鋼材・非鉄金属

本社 〒101 東京都千代田区岩本町1-10-6  
TEL (864) 1 9 4 1  
営業所 仙台・横浜・千葉

## 早慶戦に寄せて

慶應義塾大学法学部 昭和43年卒 千葉 健司

今年も、早慶戦の時期がやってきました。両校OB、現役が、良い意味での対抗意識をもった。この様な大会は、バドミントン界広しと言えども、早慶戦以外にないでしょう。私は、OBになつても、何回か出場させて戴き、楽しく試合をさせてもらいました。

私の現役の頃は、早慶戦初の敗戦（一年）、リーグ戦初の二部転落（二年）の時期であり最悪でした。早慶戦の思い出ですが、一番印象に残っているのは、四年時に、関君とキャブテン同志で戦つて負けた試合です。

関君は、その年、東日本選手権で優勝して居り、自分でも恥しい試合だけはしないように心掛けるつもりでした。

試合は、思っていた以上に動けて好調で、接戦になったのですが、途中で、両足がつてくるのには、参りました。

この大事な時に思いながら、我慢してやりましたが、自分の未熟さを痛感したものです。現在の現役諸君も、苦しい時期にあると聞いて居りますが、慶應を代表する選手は、君達以外に居ないのでから、結果を恐れず、闘志あふれるプレー、最後の一本まで諦めないプレーを、ぜひ見せて下さい。

## はまの屋 宝飾店 2F 3F

貸画廊

# 美術サロンはまの屋

各壁面34m<sup>2</sup> 応接室11.3m<sup>2</sup> 予約受付中 規約書お送りします



〒104 東京都中央区銀座6-9-9(松坂屋前)  
TEL (03) 571-0878

## 早慶定期戦に寄せて

早稲田大学第一文学部 昭和60年卒 城 戸 友 行

肩肘張りながら常に何かに戦々恐々としていた自分の現役時代は、振り返るにはまだ若ぎて、語るべき適切な言葉も見付かりませんが、私にとっては、恐らく他の方々がそうでもなかつたように、先が見えないと感ぜられる程、長く思われたものでした。どんな天才でも負けることは怖いと言われますが、弱輩者の主将であった私は尚のこと、負けることを恐れる日々が長かったのは当然のことだったかも知れません。しかし、それだけに早稲田の諸君には、今年こそ、相手に有無を言わさぬ勝利を収めてもらいたいものです。今だからこそ言えますが、私は昨年の早慶戦は、実は心の何処かで楽勝を予想しておりました。何故なら、慶應のエース五月女君は、単複共に私とたると予想されたからです。結果はそこだけ予定通りで、勝つ計算の方が予定通り行かず、正に薄氷を踏む思いでした。何にしても、私が大きな顔をして主将でいられたのもその為で（あったかどうかは知らないが）私の試合中、五月女君を応援していた早稲田の人間がいた。という噂も強ち根も葉もないことは言えないようです。

いずれにせよ学院出身の私にとって七回の早慶戦—その中に、大学男子、女子、高校の全てに勝利したことにはなかったと記憶しております。今年は是非、男子は15—0、女子と学院は必勝を期して（冗談にも相手方の応援をしないよう）この早慶戦に臨んで欲しいと思います。もし、早稲田が敗北した時は、現主将が頭を丸めます（と聞いたような気がします）。では、現役諸君の健闘並びに、本定期戦をステップとした両校秋のシーズン的一大飛躍を期待しております。

蛇足ですが、OB戦、特に若手の方の勝敗には責任を負いかねますので、予め御了承下さい。

### 祝 早慶バドミントン定期戦

ゼネラル石油(株)三ツ沢サービスステーション

(有)明 正 石 油

菊 地 利 明

横浜市保土ヶ谷区岡沢町93 TEL 045 (333) 2121(代)

## 慶早戦に寄せて

慶應義塾大学 昭和59年度卒 馬 場 良 浩

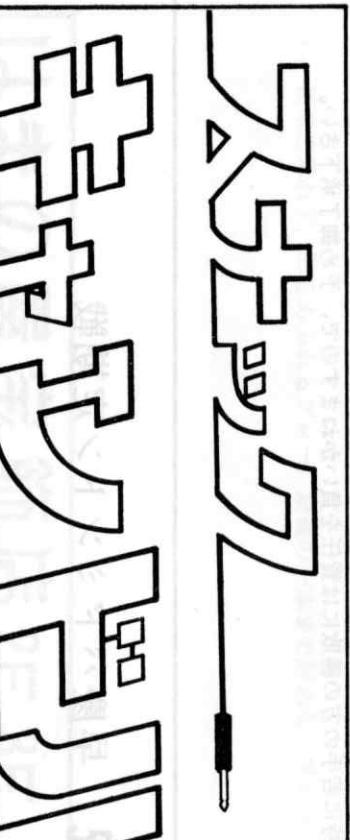
今は亡き、我が慶應の森友御大と最後に御会いしたのは、二年前の慶早戦であった。主将戦を待たずには慶応の負けは決定しており、しかも主将戦もファイナルゲームになるという情けなさ。そのファイナル前のインターバルの時の森友さんとの最後の会話は今だに忘れられない。

「疲れたか。よくやってくれたね、御苦労さん。」と森友さんがおっしゃったので

「申し訳ないゲームを御見せしてしまって、すみません。」としか言えなかつた。そして、

「あと一ゲーム、しっかりとんばれよ。」と。

森友さんから見れば、後輩が期待に応えるゲームを見せてくれなくて、さぞはがゆい気持ちでいっぱいであつたろう。結局、私はファイナルゲームを取り次ぎ負けてしまつたが、最後の一セットの時間は慶應でバドミントンができる喜びをかみしめながらプレイできたことを今でも誇りに思つてゐる。つまらぬ事を書かせて頂いたが、つまる所慶早戦とはあの喜びであると思う。慶應という大学でバドミントンをした人間に諱のわからぬ一本の絆ができ、その絆が早稲田の同胞と二倍の絆をつくりあげた。その歴史をたどつてみるとそれは慶早戦である。素晴らしいゲームが続くことをいつまでも期待している。 個人情報保護法違反の懲戒処置を受けておりません。個人情報保護法違反の懲戒処置を受けておりません。



早稲田通り



神楽坂

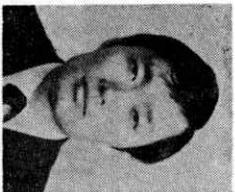
グランド坂

高田馬場

TEL202-9966

西早稲田3-3-12

## 監督挨拶



早稲田大学バドミントン部

監督 関

(昭和43年教卒)

誠

監督に就任してからの一年、何程のことができたであろうか、コーチと監督の相違を現実に噛み締めながら、なお監督として何をすべきか悩む毎日です。

昨年は、薄氷を踏む思いで早慶定期戦に勝利し、背水の陣で臨んだ秋季リーグ戦には、一部残留を果すことができました。これは、ひとに、早慶定期戦に向っての気迫、取り組みがあったからこそ秋季シーズンも乗り越えられたものと考えています。この定期戦は、両校にとって、秋季シーズンへの重要な門戸であり、下級生にとっては、正選手への登竜門であります。だからこそ、選手はこの定期戦にかける情熱を失ってはならないし、それにかかる諸兄は伝統を支えていかなければならない課題を抱えています。そこには、ライバル意識があり、友情も生まれるでしょう。

本年の早大チームは、かならずしも素晴らしいチームとして完成している訳けではありませんが、「昨年より今年、今年より来年」と前進を期しています。本年の早慶定期戦も全力を揚げて戦い、秋季シーズンへの布石にしたいと思っています。

最後に両校の健闘を期待します。

## 株式会社 石井

### 陶器・硝子器卸販売

本社	横浜市西区戸部町3丁目82番地
卸売団地所	〒220 横浜市瀬谷区卸本町9279番61
業務所	横浜市卸セントタワー7-1 〒246 ファックス (921) 4991(代)
小売部	横浜市神奈川区大口通り30 電話 (421) 2501
太子安店	逗子市逗子町5の3 電話 (71) 2953
太子子店	ブリッジンスデリカ店 東京 港区高輪4の10の30
磁器	京都 港区高輪4の10の30 スボーツランド内



慶應義塾体育会 大嶋俊次

昨年の早慶定期戦ではかなりの接戦を演じたとは云え、関東リーグでの早慶の差は歴然たるものがあり、この廻塾は低迷を続けている。この春のリーグ戦では二部の五位と云う過去最悪タイ記録の成績であった。

しかし過去十数年前のそれと現在とでは全く状況が異なる。以前の場合は受験競争の激化とそれに伴なう部員数の減少と云う時代的な波をもろにかぶった形での低迷であり、どうしようもないある種のあきらめがあったが、最近の低迷は技術的な力によるものではなく、精神的なもろさを暴露した様な所があり、力の上では何とかなりそうだと思わせながら（又は思いながら）結果として低迷している様に思えてならない。

一方早稲田のリーグ戦での有り様を眺めていると、どこにその力があるのだろうかと思われる力を発揮しながら一部に滯っており、我々は見習う所が多い。

部の方針に技術重視思考と、精神重視思考と云うものがあるとするならば、塾のここ二、三年の傾向は技術重視思考であった様に思う。

どちらの方が良いと云うことは一概に論することは出来ないが、少くとも今の塾に必要なのは精神的な強化であり、塾のラクビー部の例を持ち出すまでもなく、この辺りで百八十度方向転換をしてゆくべきだと考えている。

幸いに今年の四年生もその点については気付いている様だし、この夏の合宿に期待し、その勢いで、是非勝利をものにすべく、監督コーチも現役諸君の後押しに専念する心得でいる。



各種 生あん 製菓材料の御用は  
煉あん 品質本位の当店へ!!  
ねり

株式会社 清水製あん所

本社・工場 横浜市南区中村町3丁目203番地の14 電話 横浜 (045) 261-1523番  
ねりあん専門工場 横浜市戸塚区飯田町1124-3 電話 横浜 (045) 802-1523番

## 主 将 抱 負

早稲田大学バドミントン部主将 吉 氷 将 史

夏の暑い日射も和らいできた初秋、33回の伝統を数える早慶バドミントン定期戦の決戦の日がやってまいりました。先輩方が築かれてきたこの定期戦に参加できることを光栄に思うとともに、主将として「やってみせるぞ。」という闘志で満ちています。

春季リーグ戦では、6位という駒甲斐ない成績におわり、反省すると同時に、後期への決意を新たにしました。秋季リーグ戦では、ひとつでも上位にくい込んでやろうという気持ちであります。その秋のシーズンのスタートが今定期戦であり、これを目標に新潟県松代町において例年より長く厳しい合宿をおこない、部員一丸となって練習に励みました。主力メンバーをはじめ、下級生もたくましさを増し、チームのレベルアップにつなぐことができました。

この定期戦では、充実した主力メンバーを主軸に新たなヒーローたちを加え、万全を期して臨む所存であります。早稲田の伝統である粘り強さと、そして今年のチームの目標である強烈なショットを武器にコート狭しと暴れまくります。

慶応の諸君、烈風の如く吹き荒れる勇者の魂と陸の王者の魂を力一杯戦わせようではありませんか。

### 祝 早慶バドミントン定期戦

(株) ベストサウンド

代表取締役社長 橋 本 太 郎 (早大43年卒)

番号21-108 東京都中央区築地2-11-12 電話 03(545)1681

## 主 将 抱 負

慶応義塾体育会バドミントン部主将 佐 藤 研 児

今年で早慶定期戦も33回目を迎ますが、このような伝統ある一戦に参加できることに誇りを感じます。

今年の春季リーグ戦において、我々は不覚にも2部5位という最悪の結果に終ってしまいました。この汚名を挽回すべく、夏の猛暑の中、日吉で合宿を2回行ない、きびしいトレーニングを積んできました。この成果をこの試合で、全力を尽していかんなく発揮するつもりです。

そして、最後のシーズンである秋に、早慶定期戦という伝統あるこの対抗戦にぜひとも勝利し、怒濤のような波に乗って、秋季リーグ戦、インカレへとつなげていきたいと思っています。

早稻田の諸君、お互いに死力を尽して、伝統に恥じない好プレー、好ラリーを開拓しようではありませんか。

## 祝 早 慶 定 期 戦

内 科・神経科・精神科

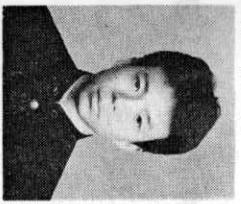
医療法人 社 团 三 恵 会

西 ケ 原 病 院

# 早稲田大学男子メンバー

貞感群主

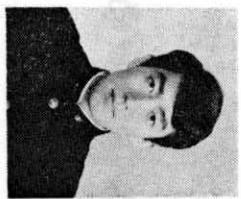
## 幹部紹介



主 士将 水将史  
二文学部4年 横浜立野高



主 藤田武彦  
商学部4年 高更津木



副 将英藤善  
政治経済学部4年 高木

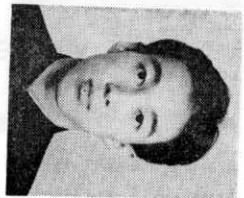
## 男子メンバー紹介

副務運	村岡一	志望教	3	川崎南高
"	井荒	飯山俊	3	宇治山田高
"	関小	庄信	3	芝山形東高
"	司野	慎太郎	3	山形東ヶ丘高
"	原祐	智二	2	早稲田実業高
"	田大	沢穎	2	明星高
"	見昌	弘	2	横手高
"	井沢	浩昭	2	奈良一条高
"	市野	健一	1	早稲田実業高
"	方峰	与志洋	1	早大學院高
"	川尾	夫裕	1	長生高
"	杜學	1	魚津高	横浜立野高



慶應義塾大学男子メンバー

幹部紹介



佐藤研究室  
慶應高年4部經濟學科



木商前學部橋高年成能務4主村



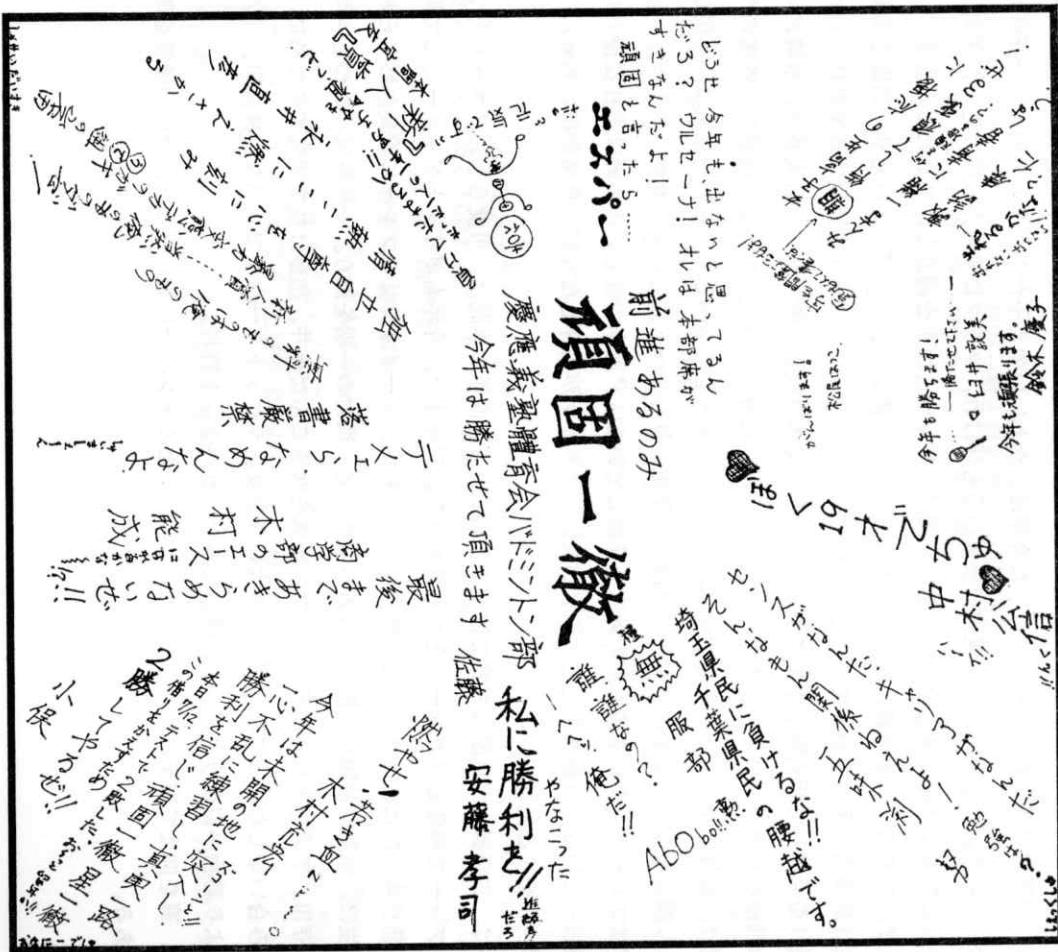
副井直彦  
永慶應高

男子メンバー紹介

慶應義塾大学女子メンバー

選手	美敦 敦白 由井 井田 文艾 4	湘南百合高
"	木慶子 文2	慶應女子高
"	木優子 経1	慶應女子高
"	松尾肇子 経1	慶應女子高

全員参加のページ



## 早稲田大学チーム紹介

八連覇を確信する男子、八連敗阻止を目差す女子共々今年のチームは伝統の一戦に思いを熱くし、男女アベック優勝を狙っている。男子18名、女子11名の部員は、持ち味を出し合い一体となって厳しい練習に励み、また練習後もそれぞれが個性を發揮して楽しい雰囲気を醸し出している。

男子は、主将吉永が強い指導力のもとにチームを引っ張っている。練習のメニュー作りに頭を悩ませる彼も、練習後は相変わらずの毒舌で皆を悩ませている。副将の近藤は、春季リーグ戦でポイントゲッターの役割を果たし、より一層プレーに磨きをかかっている。主務の藤田は、持病の身体に鞭打って仕事を全うしている。が、プレーでも二度目(?)のカムバックに闘志を燃やし、敢闘賞を獲得する所以は、と噂されている。三年生は、小関が関東選手権で単複に活躍し、複では、パートナー近藤の「サバの目」や変な掛け声にも動じず、安定した所を見せつけた。いつまは物静かな飯山は、再び最優秀選手賞を獲得し、秋へのステップにしようと気合っている。荒井は、特に複において安定感のあるプレーを見せる。学習院女子高校のコーチになつた今年は、かわいい教え子たち(?)の前で、一花咲かせてもらいたいものだ。「庄ちゃん」の愛称で後輩からも呼ばれ、クラブにすっかり溶け込んだ庄司は、単で成長を示しており活躍が楽しみだ。副務の村岡は、プレーと仕事を両立し、めきめきと力をつけ、恐い存在(?)である。二年生は、昨年の新人賞見市が、「体調不十分や！」と口走り、周囲を牽制しながら、実は最優秀選手賞を狙っているとか、いないとか。シティーポーイを自認する宇野は、日々の練習の頑張りを発揮して新人賞を手中にするとか。かっての急成長に驚きが見える大原は、故障にもめげず、一層の飛躍を目指している。生真面目な彼にも、浮いた噂が飛び交っている。後輩にも威厳のないピエロ沢田は、特異なキャラクターを生かし、皆のオモチャとして奉仕している。一年生は、平尾が山椒魚のような顔にもかかわらず、プレーでは他の一年生よりもリードしている。セサミストーリーに出ている行方はプレーにも女にも持ち前の闘志を発揮している。『風車の唄七』の雲野は素朴な持ち味を出し、日々頑張っている。近藤II世としての名が高い、カラオケが大好きな井沢。魚屋のいちゃんを思せる口調で挨拶をする長谷川。

女子は、主将神山が重厚な態度で皆をまとめている。四年の本間は、可愛らしい(エー)とも言おうか、プレーで頑張る(ウソー)とでも言おうか。三年生は、今年もポイントゲッターとして期待のかかる円黒杉本。ひたむきさと地道な努力が身上の松山。ボイッシュなプレーに成長を感じられる中島。二年生は、宗形が故障を克服してカムバックして、戦力の一端を担う。一年生は、いつもニコニコ保母さん寺田。アダルトな雰囲気でクラブに新風を吹きこんだ今井。加藤は技を研究するために、コードでからみ合いをしたがっているプロレス大好き少女。ラケットワークまで上品な宮様益田。「君には、ウェアより着物が似合うよ！」と、囁いてみたいカバトット竹村。

以上、筆を抑えて簡単に紹介してきた。この壮々たるメンバーに裏打ちされ、今年の優勝を確信する次第である。

## 慶應大学チーム紹介

今年の我が部は男子16名女子4名と人數的には寂しいが、活氣あふれる若いチームです。それでは1人1人簡単に紹介してみよう。まずは主将佐藤は、部内の雰囲気を盛りあげ、考え方の練習メニューで、チームを引っ張る。しかし裏では『お○ち』の名を欲しいままにし、アメリカに留学し、帰ってきた後は、監督に収まる人材である。木村主務は、今年はバドミントンに力を入れ、ひそかに新人賞をねらっているが、下半身にも力を入れすぎているのが、たまにきずである。永井副将は、関東選手権でインカレ出場権をとるなど波にのっている。最近やっと試合で実力が出せる様になってきた。これからはやつてくれるだらう。関係ないがスタイル重視である。渡辺学連委員長は、プレーに味がでてきており、老体にチチを打ち頑張っている。寄る年波との勝負であろう。毎日、オロナミンCのこぶ茶割りを飲んでいるといううわさである。服部トレーナーは、とにかく試合に強い。部内の練習で、彼の本当の実力にでくわした者はいないといわれている。白井女子責任者は、上級生ではただ1人と寂しいが、女子部をうまくまとめている。鎌倉より遠路はるばる通うスタミナは並ではない。バイオニック・ジェミーと言われている。

では次に3年生に移るが、自ら頑固一徹と自称する小俣は相変わらず体が固い。毎朝、酔を飲んで体を軟くしているといううわさも聞くが定かでない。長距離はまかせなさいという五味淵のスタミナはピカ一である。誰一人彼のアップにはついていけないので?と今から下級生の脅威となっている。腰越副務はなんとあの千葉県から東京をまたいで日吉にやってきている。一説によると、その通学のせいであんなウエストになつたらしい。

続いて2年生に移るが、人數が多いだけにユニークさでは一番の学年である。まず麗郷では大食いで定評のある安保だが、あれだけ食べているのに全く太らない。彼はペタン、ペタンと足を鳴らすので部室に入る前に誰だかわかつてしまう。コールの時に思わず『ミヤ』と声が出てしまう安藤は、あの王子高原に生息している。警察官の息子である How much 岩田は、一見マクザに見えるが本当の職業は木こりである。人を觀察する眼には鋭いものを持っているが、どこを凝視しているか定かでない。教習所で記録的な18オーバーを樹立した木村の車の助手席は真夏でも心臓が止まりそうになるほど涼しいという評判である。歴訪女子高コーチはよくダブルスで『スマシ』を連発するが、それはプレーに対して謝っているのではなく、いつものうけないジョークを咲びているのだとパートナーから聞いたことがある。声は大きいが何を言っているのかさっぱりわからない園田は、1人で5人分の騒音を出す。近頃、酒を飲むとすぐ寝るか触れるかするので、レセプションの時は要注意である。ダブルスではいいものを持っている中村だが、私生活ではおかしな所がある。紅一点の鈴木(慶)は春のリーグ戦で1年生松尾とダブルスを組み、貴重な一勝に貢献した。

最後に1年生であるが、男子1人で頑張る本間は、縁の下の力持ちタイプで、さすが東北・秋田出身である。東北と言えばこの人『おしん』こと鈴木(慶)である。どんなことにもひたすら耐える精神はさすがである。本間!本間!と呼んで、おしんに注意される松尾、パワーがラケットに伝わればもう一步強くなるであろう。

以上が慶応のメンバーである。今年の早慶戦は各々が持ち味を出しきって必ずや好試合を開拓するだろう。

早稲田大学高等学院メンバー

主將抱負

早稲田大学高等学院主将 石川智

今年もいよいよこの季節がやってまいりました。去年は6年ぶり6度目の優勝という快挙を成し遂げた大会に出演させていただき光栄に思っております。

今年は去年に比べると、多少戦力ダウンかもしませんが、春、夏合宿において諸先輩方から、そのダウンを補い、又それ以上のものにしようと部員一同必死になつてやってきました。つきましては、2年連続7度目の優勝という大会に出場させていただくことを私を初めとする部員一同、たいへん光栄に思っております。

誕生年1922年(大正11年)《魔》書籍の御用は

三日吉田文堂書店

三田店 東電 横浜電話  
港区三田2-14-8番  
都(451)1778番  
北区日吉慶大構内  
市港電話 044(63)4300番

## 慶應義塾高等学校メンバー

主 副 主 選	将 将 手	清 土 田 井 古 松 正 長 鈴 高 豊 崎 答	慶應義塾普通部
水 屋 中 端 田 井 木 松 澄 本 川	志 人 隆 隆 純 志 周 一 学 之 明 一 純	千代田区立一橋中 杉並区立向陽中 横浜市立みたけ台中 小金井市立東中 慶應義塾普通部	"
政 雅 康 隆 修 千 俊 宏	" " "	ホワイトプレイン ハイスクール	"
清 土 田 井 古 松 正 長 鈴 高 豊 崎 答	" " "	世田谷区立梅丘中 川崎市立西生田中 慶應義塾普通部	"
志 人 隆 隆 純 志 周 一 学 之 明 一 純	" " "		"

## 主 将 抱 負

慶應義塾高等学校バドミントン部主将 清水政志

早慶戦、その素晴らしい熱い戦いのドラマの舞台で、我々は試合ができます非常にうれしく思います。

ところで、昨年は予想外(?)の敗北に我々はみな涙し、私の頭はOB清水さんとの約束により五分刈という無惨な目にあわされました。次の日より我々(現在の2、3年生)の涙は『勝利』という二文字に向かっての汗と化し、今日、この日に早大学院を倒すということを目標の一つとして練習に励んできました。

今まで諸先輩方がこの伝統ある早慶戦において繰り広げてきた素晴らしいプレーに恥じない、いやそれ以上のプレーによって、3年生は高校生最後の、そして下級生はこれから飛躍の第一歩になるであろうこの試合が勝利で飾れるよう今までの練習の成果を十二分に發揮し、コートの中を駆け回ってただがむしゃらにがんばりたいと思います。

## ラケットショープ

オーナーライブ

川口市幸町3-9-26  
TEL 0482-56-2131

## 今大会の展望

昨年まで早大7連勝で対戦成績に開きが出てきたが、今大会はどんな結果になるだろう。早慶両校の戦力を分析してみた。

先ず早稲田。主将吉永を初め昨年のチームの主力がほとんどそのまま残存していて、伝統の一戦で活躍した選手も多い。それに、初出場する選手が十二分に実力を出しきれば早稲田としては楽になる。対する慶應。昨年までのチームの主力だった4年生が卒業し、チーム編成が変わった。しかし、主将佐藤を初め4年生を中心チーム一丸となって早大の連勝阻止に意気込んでいる。小俣を筆頭とする2、3年生の活躍を日吉記念館で試合をすることを考慮すると慶應有利か。

総体的に見ると、伝統の一戦らしい好試合が期待される。早慶両主将のオーダー作り各選手が実力を発揮できるかどうかがポイントになりそうである。第33回の大会という伝統にふさわしい白熱した展開を期待したい。

## 準備委員会あいさつ

秋のシーズンの幕開けとなる早慶バドミントン定期戦も今年で33回目を迎えます。この伝統ある早慶戦のプログラム作成に携わる事が出来、嘗りに感じ、また授業や練習では得られない良い社会勉強が出来大変幸せに思っています。しかし、諸先輩方が築きあげた歴史に恥じないものが作れたかどうか不安もあります。ともあれ、このプログラムを片手に早慶戦力、試合に、応援に一層盛りあがれば幸いです。

最後になりましたが、本誌発行にあたり御協力下さいました広告提供各社、並びに皆様下さいました諸先輩方、そして快く印刷を引き受け下さいました慶大O Bの橋本さんには心から御礼申し上げます。

第33回 早慶戦実行委員会

## 委員の横顔



村岡一志  
早稲田大学  
教育学部3年  
川崎南高



腰越信雄  
慶應義塾大学  
商学部3年  
白鷗高

このプログラム作成中、街中で楽しそうなアベックを見ては、立腹していた恋入暮集中の副務村岡です。

このプログラム作成で、かなり運転が上手になりました。字も上手になりたい、副務の腰越です。